東松島市議会議員

あさの直美

活動報告 Vol.3

討議資料　編集・発行元：あさの直美事務所　東松島市小松字沖砂利前155

市議会定例会において、あさの直美が一般質問を行った内容の一部をご紹介いたします。

令和3年第4回定例会　一般質問 3 項目

人口減少対策と関係人口増加による効果について

1 令和2年国勢調査速報値におきまして、本市の人口は39,121人であり、5年前の平成27年の調査時からは382人の減少で留まっております。宮城県全体で人口減少が顕著であるなか、本市の増減率は0.97減であり、移住定住の促進や、交流人口拡充等の様々な施策が功を奏したものと考えられます。

Q アフターコロナを見据え、交流人口、関係人口拡充等様々な効果的な施策で人口減少対策を！空き家の効果的な利活用の促進を。

A 空き家の交流施設としての活用とともに、提供に必要な改修等の支援や店舗等としての活用についても今後支援策を検討してまいります。

保育所・幼稚園・小中学校の安全管理と危機対策を万全に！

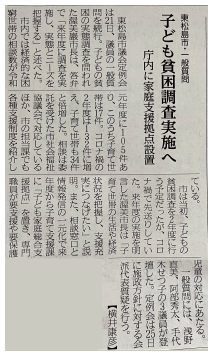
2 子どもたちの安全を確保するため、不審者対策を強化すべきであることから、市内の各小中学校、幼稚園、保育施設の防犯カメラの設置状況について確認し、各公立保育所に防犯カメラを複数台設置することを提案、安全対策を万全にするために早急に設置することを実現しました。

魅力ある学校づくりの推進について

3 子どもたちの自己肯定感、自尊感情を育む教育が重要です、学校が行きたくなる大切な場となるための取組推進を提案いたします。

A 教育長答弁　授業や学校行事、部活動、たてわり活動など、一人一人の児童生徒に対して出番を用意し、適切な役割を付与し、具体的に承認していく教育活動を進め、児童生徒の自己肯定感や自尊感情をを高めていくことで、すべての児童生徒にとって学校が行きたくなる魅力ある場となるよう、取り組んでまいります。

令和4年第1回定例会　一般質問 3 項目



東松島市一般質問

子ども貧困調査実施へ

庁内に家庭支援拠点設置

東松島市議会定例会は、元年度に一一・五％の子どもが貧困状態にあるとの調査結果を受け、この子育て世代の状況を把握し、支援策を検討するよう求めた。また、相談窓口と情報発信の一元化や、庁内に家庭支援拠点を設置するよう求めた。

市は当初、子どもの貧困調査を年度内に行う予定だったが、コロナ禍で実施が難しいとの理由で、実施を先送りしていた。

本年度に実態調査を行う予定だったが、コロナ禍で実施が難しいとの理由で、実施を先送りしていた。

教育長は、貧困の「貧」の字を使用せず、子どもの貧困状況を把握し、支援策を検討するとの答弁。

市は、貧困の実態調査を行う予定だったが、コロナ禍で実施が難しいとの理由で、実施を先送りしていた。

新聞にも掲載されました

切れ目のない子ども関連施策の充実を！

1 人口の６人に１人が相対的貧困とされている日本の貧困率、子どもたちの生活にも影響を与えていることが懸念されます。子育てしやすく誰もが安心して生活できるために、子どもに関する課題に総合的に対応することが重要であることから、子どもの貧困の実態調査を実施し、必要とする世帯へ必要な支援策を検討するべきであるとうったえました。

A 令和4年度に実態調査を実施し、子育て世代の生活や経済状況等の実態とニーズを把握し、支援充実につなげてまいります。

Q 産前産後のケア、また妊産婦の不安解消策強化を

A 令和4年度は、産婦健診助成や産後ケア事業を新たに実施するなど、妊産婦の不安解消に向け、より一層取組を充実してまいります。

Q 本庁舎に授乳室を！

A 設置場所の検討を進めていく。

Q 休業や時間短縮等就業環境の変化に伴い、とりわけ、ひとり親家庭への影響が大きくなっております、ひとり親家庭の支援策を充実させるべきと考えます。

A 国の支援と併せ、本市独自の支援策を模索し、引き続き支援充実に努めてまいります。

農業振興施策の強化を！

2 本市の重要な基幹産業である農業について、効率的な営農環境を整備し、受益者及び土地改良区を始めとした関係機関と一体となり、持続可能な営農体制の確立が求められます。米の需給バラスの崩れから米価下落が止まらず、農家にとって春の作付けも厳しい現状が強いられているなかで、圃場整備の促進が急務であります。

Q 現在、西小松地区の農業競争力強化農地整備事業が、令和元年度から令和6年度を施工予定期間とし進められておりますが、農業振興施策として、生産性の高い農地整備とともに、安定的な農業経営確立を農家に示すべきであります。
計画通り工事が施工されるのかも含めて伺います。また、農業従業者にとって、利便性の高い施工で計画をすすめるべき。

A 西小松地区の県営圃場整備事業は、総事業費27億円、受益面積128.4haで事業採択され、令和6年度施工完了に向け進捗しているおりますが、さらに早期に完了するよう、引き続き県に要望してまいります。今後も、持続可能な営農体制確立に向け、宮城県及びいしのまき農業協同組合と連携し、農業者への経営及び技術向上の支援、基盤整備及び農地の有効活用と作目転換の推進など、安定した農業経営確立の方針を示しながら、具体的な取組を進めてまいります。

学校を中心とした地域活性化、コミュニティスクールの可能性について

3 本市では、平成30年度に市内全小・中学校にコミュニティスクールが設置されています。本市の設置当時は全国で5,432校の導入でありましたが、令和3年5月には11,856校が導入しています。全国的にもコミュニティスクールの推進が進む状況に先駆け、先進的に設置した本市は、導入を検討する他自治体から模範となる取組が望まれます。

Q 新学習指導要領が改訂され「社会に開かれた教育課程」の実現があげられている、既にコミュニティスクールの取組が基盤となっていることから、今後の学校教育においても効果的に展開されると期待しますが、今後の目指す方向性について伺います。

A 教育長 令和3年度から他自治体に先駆けて、中学校区を単位に学校運営協議会連絡会を設置し、一層の連携を図っております。今後も様々な取組を一層推進してまいります。

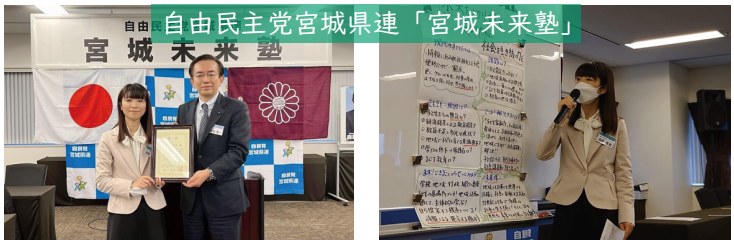
紙面の都合上、内容を抜粋しご紹介しております。
全文は、「東松島市議会映像配信」よりご覧いただけます。

令和3年第4回定例会　令和4年第1回定例会

活動報告

日々の活動の一部をご紹介致します。
活動の詳細は、公式HP、ブログ等でご覧いただけます。

児童虐待の現状と対策、防止を強く訴え、定期的に街頭活動を行っています。



「未来を切り拓く子どもたちに、社会を生き抜く力」題して、塾長賞を受賞

不登校対策における県の見解について協議を致しました。

市役所本庁舎正面玄関と、福祉課入り口に配置しております。

デコボコになり、水たまりになってしまう通学路、冬は凍結の危険があるため、埋め立てを要請し工事完了しました。

毎朝のあいさつ、見守り活動を継続しております。

アナウンサーの経験を生徒の皆さんにお伝えしました。

ご覧いただきありがとうございます。
ひとりでも多くの地域の皆さまにお届けするために、ご不在の場合は、大変不躾ながらポストに投函させていただいております。ご了承いただけますと幸甚でございます。

東松島市政に対する皆さまの声をお寄せください。
Facebook @naomi.asano.96
Instagram naomi_asano1716
Twitter @naoasahigamatsu
あさの直美後援会
info@asanonaomi.com
公式HP　公式ブログ